

もくじ

新年のごあいさつ ..... 2

**特集** 第21回絵のまち尾道四季展入賞作品紹介 ..... 5

市税等の申告相談 ..... 8

くらしの窓 ..... 10  
スマホを利用した確定申告/マイナンバーの特急発行 他

健康・福祉 ..... 13  
発達支援講演会 関わり方や声かけのヒント 他

子育て ..... 15  
入学通知書を発送/就学援助 他

スポーツ ..... 18  
駅伝大会/スポーツ無限大おのみちセミナー 他

芸術・文化 ..... 20  
本因坊秀策囲碁まつり/尾道映画祭2025 他

情報アラカルト ..... 23  
高校生対象企業ガイダンス/尾道観光親善大使募集 他

相談 ..... 26

みんなが輝くために ..... 28

人の動き[令和6年11月30日現在]※( )内は前月比。

64,228世帯 (-45)

人口 男性 61,747人 (-69)

女性 64,778人 (-85)

計 126,525人 (-154)

今月の納期限	市 県 民 税 ④
	国民健康保険料 ⑦
	介護保険料 ⑦
1/31(金)	後期高齢者医療保険料⑦

**今月の表紙**

新造船「Onomichi」の進水直前の写真です。船体後方の3本の波線は、尾道水道とやまなみ・まちなみ・しまなみをイメージし、尾道の一体感を表現しています。(関連記事は4頁)

尾道市役所 0848-38-9111	百島支所 0848-73-2701
因島総合支所 0845-22-1311	浦崎支所 0848-73-2001
御調支所 0848-76-2111	消防局 0848-55-9120
向島支所 0848-44-0110	尾道市立市民病院 0848-47-1155
瀬戸田支所 0845-27-2211	公立みつ総合病院 0848-76-1111

## トピックス-Topics-

**暮らしやすい地域のために「つながり力」を維持・強化！**

11月16日(土)、栗原北公民館で地域づくり講演会が開催されました。「自分が暮らしやすい地域はみんな暮らしやすい地域！」と題した講演では、庄原市の事例をもとに地域住民同士で支えあう、暮らしやすい地域づくりについて学びました。64人の地域の皆さんが参加し、講師への質問も積極的に行われました。無理のない範囲で自分ができることを考え、地域をより良くしたいという想いが強まったようです。



**新造船「Onomichi」が海へ！**

12月13日(金)、新造船「Onomichi」の進水式が行われました。年度内を目途に尾道水道の渡し船として運用開始される予定です。内部の窓には、額縁に見立てた装飾が施されています。ぜひ、あなただけの尾道の絵を写真に撮ってください。



**市長表敬訪問**

**「偏光板アートプロジェクト」第18回キッズデザイン賞(子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門)受賞**

日東電工株式会社  
受賞おめでとうございます！



**2024四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル**

**第20回全国ジュニア自転車競技大会(10月27日=三重県)**

小学校1・2・3年生男子の部(4.6km)第3位  
船岡 湊さん(栗原小学校3年)

小学校4・5・6年生男子の部(8.8km)第5位  
船岡 湊さん(栗原小学校6年)

入賞おめでとうございます！



**JOCジュニアオリンピックカップ**

**第38回全国都道府県対抗中学バレーボール大会(12月25日~28日=大阪府)**

澤田和花葉さん(尾道因島クラブ所属・向東中学校3年)



## 特集

# 第21回 絵のまち尾道四季展 入賞作品紹介

全**21**点  
(敬称略)

尾道を題材にした絵画作品を公募する「絵のまち尾道四季展」。昭和58年に始まり、2年に1度のビエンナーレ形式での開催を続け、21回目を迎えました。今回も、出品者それぞれのアイデアやイメージーションを加えた、335人・全414点もの個性的な作品が寄せられました。

3人の審査員により作品審査会が行われ、選ばれた入賞作品のうち、21点を紙面でご紹介します。

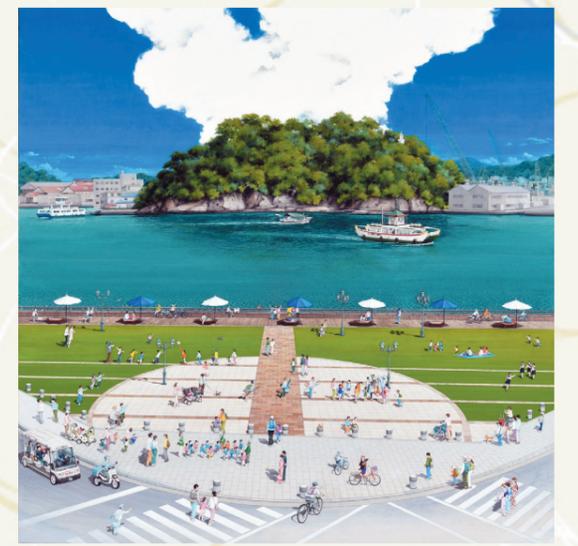
☎絵のまち尾道四季展運営委員会事務局(尾道市立美術館内☎0848-23-2281)

### 尾道賞 グランプリ



「尾道水道」  
藤野 陽平 (広島県)  
オイルパステル画

### 小林和作賞



「小さな風景」  
酒井 克典 (奈良県)  
日本画

**審査員長コメント**

バラエティに富んでいて、良い作品がそろっていました。定番の題材である尾道水道以外にも様々な題材の作品があり、尾道の良いところを引き出して作品にされていました。その人なりの視点や表現が感じられる作品が印象に残っています。

グランプリ作品は、色彩感覚に富んだ作品でした。風景を写實的に描くのではなく、自分の中に取り込んで個性的に表現されています。

いろいろな人に尾道に来てもらって、尾道を見てもらって、絵を描く「絵のまち尾道四季展」はシステムとしても良くできていると感じます。尾道の市民の皆さんにとっても、自分たちの住んでいるまちを見直すよい機会になると思います。尾道に触発されて描かれた400点余りの作品が全国から集まるということは、すごいことですね。

**審査員長 福永 治さん**  
美術評論家  
(京都国立近代美術館館長)